



企画展「暁斎が描く異形のものたち」展

同時開催 特別展「英国の子供たちの見た暁斎」展

河鍋暁斎記念美術館の
HPへはこちらから↑
<http://kyosai-museum.jp/>

会期：11月1日（水）～12月23日（土）

休館日：毎週木曜、毎月26日～31日、年末年始期間 開館時間：10時～16時

入館料：一般600円、中～大学生500円、小学生以下300円、団体要予約（20名以上）

先月に引き続き、企画展では暁斎の人気の画題のひとつ、妖怪や幽霊を描いた作品を展示しております。妖怪たちが行進する百鬼夜行図や動物のあやかし、天狗や鬼、そして幽霊、ガイコツといった異形のものたちを、暁斎一門の作品でお楽しみ下さい。

また、同時開催の特別展では、1993年に大英博物館で開催された展覧会「Demon of Painting; The Art of Kyosai」に関連して行われた共同プロジェクトをご紹介します。暁斎作品を見た当時の小学校高学年から中学生が作成したシルクスクリーンを複製でご覧いただけます。

暁斎筆「芝泉市（狐にばかされ）」

元治元年（1864） 和泉屋市兵衛板 大判錦絵

幕末の元治元年（1864）に版元の和泉屋市兵衛から出版された、暁斎の戯画シリーズのひとつ。上のコマでは、初午詣でに稲荷神社へ行った男が狐に騙されたのでしょうか。曲芸師にでもなったつもりなのか傘と絵馬を持って鳥居の上を歩き、狐たちが囃しています。左下は馬子が化かされて、武士の衣裳をつけた狐を馬に乗せています。



色づいた桜の葉、自然がくれるステキな贈り物ですね

くるみ保育園長 松本 麻紀

寒さが日に日に増し、登降園する子どもたちの服装は、あたたかそうな上着にニット帽、手袋にマフラーとすっかり冬支度になりました。体調を崩すお友だちも見られ、手洗い・うがいをしっかりと予防しようねと伝えています。

日中はおひさまが出ていると暖かく、お庭へ。4本ある桜の木がきれいに色づき、ひらひら落ちてくるのをみつめたり、穴をあけて顔をつくり「葉っぱおばけ～」とのぞいたり。自然がくれる贈り物を楽しんでいます。

11月16日は消防署の方に来ていただき消防訓練をしました。非常ベルの音にビックリする子もいましたが赤ちゃんの泣き声も今回はなく園庭へ静かに速やかに非難するのを見て、毎月の訓練がいきているかなと思いました。職員は水消火ノ

ノ器を使用して消火訓練、また、実際に119番通報も訓練。緊張しますが訓練の大切さも感じています。幼児クラスは地震に関するビデオも見せていただいたり、年長さんは消防士さんの服を着せていただきました。「どうして消防士さんになったんですか？」と質問も出て「人を助ける仕事をしたかったから」という答えに将来自分もと思った子もいるかもしれませんね。

11月20日はお弁当の日でした。0歳児クラスは初めてのお弁当となりました。いつもお母さん方はいろいろ工夫され、子どもたちは本当に嬉しそう。お迎え時、「ママのお弁当おいしかったあ」「お弁当ありがとう！」という声がいっぱい聞こえ、お母さん方もにっこり。親子のやりとりがとても微笑ましかったです。